

- 特集**
- 1 区内の地球温暖化対策の取り組み
 - 2 オリジナル給食 港北区ランチ
 - 3 小学生の放課後の居場所

「広報よこはま港北区版」が
スマホやタブレット端末で読みやすくなりました



マチイロ



マイ広報紙

区内の地球温暖化対策の取り組み

レインガーデン

周辺の雨水を取り入れて一時的にため、時間をかけて地下に染み込ませることができる花壇です。区役所と新横浜町内会が協働し、11月に新横浜駅前公園内に整備しました。



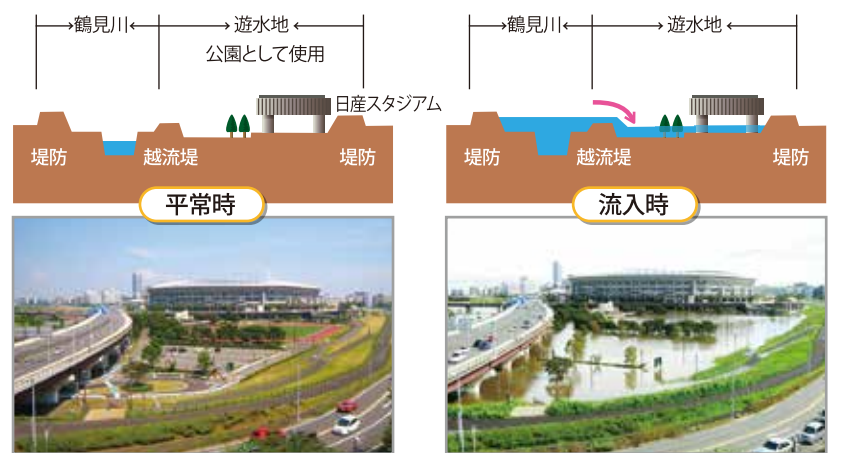
レインガーデンのイメージ



「今世紀後半の温室効果ガス実質排出ゼロ(脱炭素化)」を位置付けたパリ協定の採択後、世界の温暖化対策の流れは大きく変化しています。再生可能エネルギー導入の加速など、各国大都市の脱炭素化に向けた新たな取り組みが活発になっています。新横浜をはじめとする区内の温暖化対策の、先進的な取り組みを紹介します。

鶴見川多目的遊水地

かつて暴れ川と呼ばれた鶴見川は、綱島などの下流低地を中心に、洪水を引き起こしてきました。これを解消するため、1980年ごろから河川や下水道などの整備をはじめとした「総合治水対策」が進められてきました。特に日産スタジアムのある新横浜公園は、大雨などで鶴見川の水位が上がったときに、周囲の堤防より一段低くなっている越流堤から川の水を取り込み、一時的に水をため込むことができます。この遊水機能により、鶴見川の氾濫からまちを守っています。



写真提供: 国土交通省京浜河川事務所

横浜カーボンオフセットプロジェクト

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックに伴う二酸化炭素(CO₂)排出量に対して、皆さん一人一人の省エネ行動で減らしたCO₂と相殺させ、環境に優しい大会にしようというプロジェクトです。学生部門として区内の小中学生も取り組みました。

▶一般部門の参加者も募集中です。詳細は [横浜カーボンオフセットプロジェクト](#) 検索

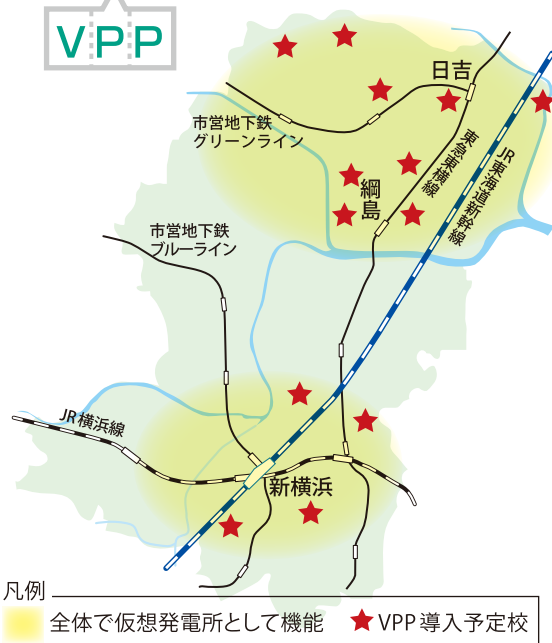
どうしても減らせないCO₂

みんなで減らした分のCO₂

カーボンオフセットとは
どうしても削減できないCO₂を、他の場所での削減量で相殺(オフセット)すること。

バーチャルパワープラント(仮想発電所)

点在する太陽光発電や蓄電池などを、あたかも一つの発電所のように機能させることをいいます。環境モデルゾーンとして進める新横浜と日吉・綱島を中心とした学校に対して、年内をめどに集中的に蓄電池の導入を進めています。学校に設置した蓄電池は、非常時に地域の防災拠点を運営するための電気としても活用できます。



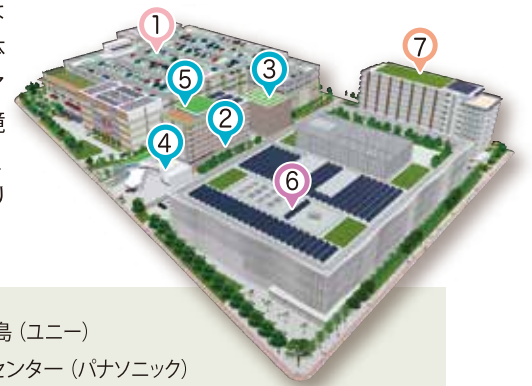
★VPP導入予定校

高田中学校(導入済み)、下田(導入済み)・日吉台・矢上・駒林・日吉南・北綱島・綱島東・綱島・大豆戸・菊名・篠原西・篠原小学校

凡例
全体で仮想発電所として機能 ★VPP導入予定校

Tsunashima 綱島 SST サスティナブル・スマートタウン

綱島街道沿いに、3月、まちびらきました。電気・熱などのエネルギー源をまち全体で最適化するエネルギーマネジメントや、自転車・環境対応車のシェアリングなど、快適で持続可能なまちづくりを進めています。



- 1 アビタテラス横浜綱島(ユニー)
- 2 タウンマネジメントセンター(パナソニック)
- 3 タウンエネルギーセンター(東京ガスグループ)
- 4 横浜綱島水素ステーション・スイソテラス(JXTGエネルギー)
- 5 慶應義塾大学綱島SST国際学生寮(慶應義塾大学)
- 6 スマート技術開発施設(Apple)
- 7 プラウド綱島SST(野村不動産・関電不動産開発・パナソニックホームズ)

レインガーデンや鶴見川多目的遊水地は、温暖化による被害を最小限に食い止めるための取り組み(適応策)です。これからの温暖化対策では、こうした考え方も大切です。



©横浜市港北区ミズキー

●問合せ 区役所企画調整係(レインガーデン・鶴見川多目的遊水地) ☎540-2229 fax 540-2209
温暖化対策統括本部プロジェクト推進課(横浜カーボンオフセットプロジェクト・VPP・綱島SST) ☎671-4155 fax 663-5110